

日銀グランプリは、日本銀行が毎年開催している、学生の皆さんを対象とした金融分野の小論文・プレゼンテーションのコンテストです。今回も、多くの皆さんのご応募をお待ちしています！

応募要領

■課題

「わが国の金融を巡る課題と処方箋」

わが国の金融を巡る現状をみると、グローバル化や金融技術の高度化が進むなかで、サブプライムローン問題に代表されるような、多様かつ複雑なリスクに直面するようになっていきます。また、わが国金融機関や金融資本市場の国際競争力強化や、金融リテラシーの向上あるいは金融経済教育の定着を求める声も聞かれています。こうした現状を踏まえ、金融システムや金融市場など、わが国における金融を巡る課題を取り上げ、それに対する具体的な処方箋を提案して下さい。

—— 切り口の例としては、次のようなものが考えられますが、これらに限らず、皆さんの斬新で独創的な問題提起を期待しています！

【切り口の例】① 使いやすい金融・決済サービスの構築

② ITや金融技術の活用、金融機関の機能向上

③ 金融・経済のグローバル化に着目した工夫

④ 金融経済教育の効果的な推進

⑤ 金融政策による対応

■応募資格

現在、大学（短大を含む）および専修学校専門課程などに在籍の方（大学院生は除く）。2～4名1組のグループでご応募ください。

■応募規定

・ 予選（書類審査）…… 上記の課題に沿って、題名をつけ、**日本語でA4（タテ置き、横書き）×8枚以内（1枚につき35字×35字）の小論文**としてまとめてください（注釈、図表、参考文献などは枚数に含みません）。また、冒頭に、**400字以内の要約を付けてください**。応募に際しては、専用の応募用紙（下記参照）を添付してください。
※応募は未発表のものに限ります。他者の著作を引用するときは、その旨明記してください。

・ 厳正な審査を経て、決勝進出チーム（5チーム程度）が選ばれます。

・ 決勝…… 2008年12月にプレス公開で開催します。日本銀行本店（東京）にて論文要旨のプレゼンテーション（15分程度）と審査員との質疑応答（15分程度）を予定しています。日程などの詳細は、決定次第、下記ホームページで公表します。

■審査方法

【書類審査】①現状の把握・分析的的確性、②着眼点や提言の独創性・実効性、③論旨および提言の論理性・説得性、といった諸点に照らして、決勝進出チームを厳正に選定します。

【決勝審査】書類審査のポイントに加え、④プレゼンテーションおよび質疑に対する応答の内容が審査の対象になります。

■審査員

日本銀行政策委員会メンバーおよび日本銀行外部の有識者（計5名程度。審査員長は日本銀行副総裁を予定）。

■賞

最優秀賞／1チーム（楯、賞状、図書券15万円）

優秀賞／2チーム（楯、賞状、図書券3万円）

※この他に敢闘賞および佳作を選定することがあります。

■応募締切

2008年9月26日（金）※必着

■応募方法

専用の応募用紙を日本銀行ホームページ（<http://www.boj.or.jp/>）から入手、小論文に添付の上、電子メールまたは郵送にてご応募ください。

※応募者の個人情報、日銀グランプリ関係の連絡、発表以外の用途には使用しません。

■応募・問合せ先

【郵送】〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1

日本銀行情報サービス局 総務企画担当「日銀グランプリ」係

【Tel】03-3277-2405（土・日・祝日を除く10時～17時）

【Fax】03-5203-8703

【E-mail】post.prd3@boj.or.jp

■注意事項

・ 入賞論文は日本銀行のホームページなどに掲載することがあります。

・ 提出論文の著作権は主催者（日本銀行）に帰属します。

・ 二重投稿はご遠慮ください。

・ 提出物は返却いたしません。

・ **応募規定の内容を満たさない論文は選外となります。**

・ 選考過程についてのお問合せには応じかねますので、ご了承ください。

※日本銀行ホームページ（<http://www.boj.or.jp/>）に、過去の日銀グランプリにおける上位入賞論文、審査員の講評などを掲載していますので、ぜひご覧ください。

～「第3回 日銀グランプリ」決勝から～



《プレゼンテーションの様子》



《岩田審査員長の挨拶》



《表彰式にて》